

日本海事協会は、いかにしてスマート化を実現したのか。

30年先まで見据えたクラウドが、 シップ・リサイクルにもたらすものは？

それは、人と地球環境を守るシップ・リサイクルの実現です。ClassNKの通称で世界的に知られている日本海事協会は、人命の安全確保と海洋汚染の防止を目的として、IBMと共同で船のリサイクルを支援する「船舶有害物質・情報管理ソリューション」を研究開発。

船のどこに、どのような有害物質がどれだけ含まれているか、をウェブ上で一元管理できる仕組みをIBMのインダストリー・クラウドと、SOAに準拠した統合基盤フレームワーク*1で構築しました。この新たな仕組みを造船所や部品・材料メーカーに広げることで、同一基盤上での有害物質情報の連携が可能になり、日本海事協会によるインベントリー*2運用管理作業などが70%以上削減*3。

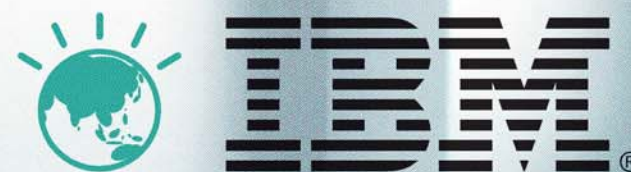
そして約30年という船のライフサイクルにわたり、全関係者がデータやプロセスを共有し、インベントリーの作成、解体作業の準備、有害物質の処理などをスムーズに進められる体制を整えました。船舶の設計構造情報を長期間保管するアーカイブセンターの設立をはじめ、将来的には業界全体で活用できるグローバル標準のクラウド環境へと発展させることを目指しています。

ITの力で、船にもスマートなリサイクルを。IBMがお手伝いします。

賢く、スマートなビジネス実現のために、スマートなシステム、ソフトウェア、サービスを。

地球を、より賢く、よりスマートに。

スマート化の実例は で検索してください。



*1. IBM のグローバルでの実績や経験を活かして作られたグローバル・アセットで、SOAの開発・実行を支える統合基盤フレームワーク(IPアセット) *2. 船に存在する有害物質の算定と場所を記載した一覧表 *3. 旧来作業と作業量(工数)を比較、日本海事協会調べ。
この広告に掲載されている情報は2011年6月のものです。事前の予告なしに変更する場合があります。本広告中に記載の数値は初掲載当時のものであり、閲覧される時点では変更されている可能性があります。事例は特定のお客様での事例であり、すべてのお客様について同様の効果を実現することが可能なわけではありません。
IBM、IBM ロゴ、ibm.com、および Smarter Planet アイコンは、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

このたびの東日本大震災で被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。